

## 診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院病理部では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みにになり、ご自身やご家族等がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「ご自身やご家族等の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

### 【対象となる方】

2002年1月1日～2022年12月31日の間に、十二指腸乳頭部癌に対し虎の門病院消化器外科に入院・通院し膵頭十二指腸切除術を受けられた方。

### 【研究課題名】

IAPN(膨大部内乳頭状管状腫瘍)の十二指腸乳頭部癌の予後における影響

### 【研究の目的・背景】

#### 《目的》

IAPN(膨大部内乳頭状管状腫瘍)の術前術後の臨床像、検体の特徴的病理像をまとめ、臨床・病理像を明らかにし十二指腸乳頭部癌に対する予後への影響を調査することが目的です。

#### 《研究に至る背景》

IAPN(膨大部内乳頭状管状腫瘍)は十二指腸のVater膨大部という部位の中に生じ、多様な病理像を示す腫瘍のグループであり、IAPNが将来的な悪性腫瘍の発生源になる可能性も指摘されています。しかし、概念自体が比較的新しく、先行研究も不十分でありIAPNの病態は未だ十分に明らかにされてないのが現状です。

今回の研究では、術前術後の臨床像、検体の特徴的な病理像、十二指腸乳頭部癌に対する予後への影響を調査し、正確に評価することで、IAPNの病態の把握に役に立つと考えております。

### 【研究のために診療情報を解析研究する期間】

2023年3月9日～2024年12月31日

### 【単独／共同研究の別】

虎の門病院単独研究

### 【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は 虎の門病院病理部部長、高澤 豊 のもと研究終了後 5 年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【利用する診療情報】

診療記録、手術記録、血液検査（腫瘍マーカー）、  
切除検体の病理レポート

【虎の門病院における研究責任者】

虎の門病院・病理部・高澤 豊

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族等の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身やご家族等の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2023年9月30日 までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 病理部 ・ 高澤 豊  
電話 03-3588-1111(代表)